水難事故防止をドローンで啓発

美濃市の長良川 上空から音声流す

水難事故防止を呼び掛けながら飛行するドローン＝美濃市前野、長良川河川敷

水難事故多発地点の一つ美濃市前野の美濃橋に近い長良川で29日、関署と中濃消防組合美濃消防署は、同市に支社を置くドローン事業者「ＲＯＢＯＺ」と共に、ドローンを使った水難事故防止の啓発活動に取り組んだ。

関係者15人が参加。ドローンは同社が所有する産業用ドローンで、５００㍍先まで放送が届く高性能スピーカーを搭載している。▽子どもから目を離さない▽飛び込まない▽深い場所に行かない▽お酒を飲んだら川に入らない―といった注意点をあらかじめ日本語、英語、ポルトガル語で収録。ドローンは上空約20㍍、約５００㍍間を自動操縦で飛行しながら音声を流した。河川敷では両署員がチラシなどを配った。

関署によると、昨年までの過去10年の管内での水難事故は１０２件、死者は41人に上る。今年は27日時点で6件、死者5人。今月21、24日は釣りをしていた男性が亡くなる事故が続けて起きた。中濃消防組合も、今年は例年に比べて釣り客が多い傾向があるとし、適切な装備や熱中症防止のための水分補給などを呼び掛けている。（佐名妙予）

無断複製・転載を禁じます